

海老名市教育委員会

(平成30年 9月 定例会議事日程)

日時 平成30年 9月21日(金)

午後 2時00分

場所 えびなこどもセンター 301会議室

教育長報告

日程第 1 報告第 17号 平成30年度教育委員会非常勤特別職の委嘱について

日程第 2 議案第 20号 国指定史跡相模国分寺跡用地取得の申し出について

日程第 3 議案第 21号 平成30年度全国学力・学習状況調査結果の公表及びその方法について

日程第 4 議案第 22号 「海老名市保護者負担経費の在り方についての方針」について

海老名市教育委員会

平成30年 9月定例会

◇教育長報告

1 主な事業報告

- 8月24日(金) 教育委員会8月定例会
太田市交流演奏会出迎え
不登校支援「ぼちぼち」見学
- 25日(土) 総合防災訓練ビックレスキュー
- 26日(日) 総合防災訓練ビックレスキュー
太田市・海老名市交流演奏会
- 27日(月) 第2学期始業式
朝のあいさつ運動(今泉中)
- 28日(火) 市長定例記者会見
指導係・支援係30計画進捗報告
- 29日(水) 週部会
杉久保小遊具披露式典
授業改善実践推進委員会
- 30日(木) 校長会学校予算要望
校長連絡会
保護者負担経費検討委員会
- 31日(金) 市議会第3回定例会本会議(開会)
9月校長会議
臨時最高経営絵会議
台風20号情報連絡会
代表質疑部内調整
- 9月 1日(土) 単P会長会
- 2日(日) ひびきあい塾
神奈川俳句大会
- 3日(月) 臨時教育委員会
台風20号情報連絡会



- 4日(火) 台風20号情報連絡会
小中学校15:00一斉下校
代表質疑市長ヒア
学力学習状況調査基礎資料・経年変化報告
- 5日(水) 週部会
初任者授業参観(柏ヶ谷中)
有鹿小学校運営協議会
学校ICT活用推進協議会
総合教育会議児童打合せ(東柏ヶ谷小)
- 6日(木) 市議会第3回定例会本会議(代表質疑)
9月教頭会議
一般質問部内調整
- 7日(金) 今泉小学校運営協議会
よりよい授業づくり学校訪問(杉本小)
- 8日(土) 第1回総合教育会議
- 9日(日) 薬物乱用防止キャンペーン
消防99の日イベント
- 10日(月) 一般質問市長ヒア
- 11日(火) 9月臨時校長会議
- 13日(木) 文教社会常任委員会(補正・陳情案件)
県中学校校長会幹事会
- 14日(金) 初任者授業参観(中新田小、杉久保小)
教育課題研究会
- 16日(日) 中学校体育祭
- 17日(月) 文化財保存整備委員会
- 18日(火) 消防署西分署打合せ
- 19日(水) 市議会第3回定例会本会議(一般質問)
- 20日(木) 市議会第3回定例会本会議(一般質問)
- 21日(金) 初任者授業参観(有鹿小)
十五夜豆腐寄贈セレモニー(有鹿小)
歴史絵手紙審査会
MOA絵画コンクール審査会

2 学校施設再整備計画について

このことについては、海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会の答申を受け、9月3日に臨時の教育委員会を開催し、みなさんに「海老名市学校施設再整備計画（案）」のパブリックコメントの実施について承認いただいたところです。

現在、9月6日から9月25日の間でパブリックコメントを実施しています。

また、第1回総合教育会議の折に、議題としたところです。

先日、体育祭の学校訪問で、あらためて校舎や体育館を見上げ、見渡し、数十年先を見通して、次の世代に負担とならないように、私たちの意図が伝わるように、計画を策定しなければと思ったところです。

例えば、具体的に、体育館に空調設備を設置するとしても、体育館が単なる体育や儀式、部活動のための学校施設ということだけでなく、避難所として、地域の集会等に使える施設として考える必要があると思いました。

一週間後の28日に、臨時教育委員会を開催し、みなさんと十分に協議し、「海老名市学校施設再整備計画」決定したいと考えますので、よろしくをお願いします。



以上でございます。

平成 30 年第 3 回定例会一般質問・教育部所管部分の質問・答弁

●永井浩介議員

【教育について】

- 教育委員会では、平成 26 年から、学力・学習状況調査の市全体の結果の分析と考察から「指導の改善に向けた手だて」をまとめ、HP で公開している。
- 正答率は、小中学校ともに昨年度と比べ、向上している。
- 生活習慣などを問う質問紙の結果から、小学生は規則正しい生活習慣が身に付いている児童が多く、中学生は、規範意識を持って学校生活を送っている生徒が多いということが分かった。
- 一方、地域・社会へ関心を持つことについては、平成 26 年度調査から継続して課題となっている。
- 今後、学校だけでなく保護者や地域の理解の下、教育施策の改善と学校の授業改善に努めていく。

●宇田川希議員

【学校の体育館の暑さ対策について】

- 近年の異常気象による体育館の暑さ対策については、大きな課題と認識している。

- このため、これまでも試験的に体育館に大型涼風器を導入するなど、効果検証を実施してきたが、授業等での利用後のアンケート結果等では、多くの課題が挙げられ、導入に至らなかった経緯がある。
- 今後の体育館の改修時には、エアコン設置も検討していく。

【学校の雨漏り対策について】

- 雨漏りが発生した場合は、教室等を最優先に補修工事を実施しているが、強風を伴う台風やゲリラ豪雨の際は、窓枠付近から雨漏りが多く発生している。
- これまでも、良好な学習環境維持のため、雨漏り対策には重点的に予算配分するなど対応している。
- 原因が特定できない場合もあり、その場合は、応急的な施工を行っているが、施設の老朽化等、やむを得ない事情もある。
- 今後も施工方法の工夫をしながら、迅速な対応に努めていく。

●西田ひろみ議員

【学校における性教育について】

- 小学校では、4年生の保健の授業で学習する「体の発育・発達」だけではなく、市内の養護教諭が作成した6年間の市独自の性教育指導計画に基づき、小学1年生から系統的に学習している。

- 中学校では、1年生の保健体育の授業で、「生殖機能の成熟」や「性情報の対処」等を、2年または3年生で「性感染症の予防」を学習する。
- 性感染症の予防については、授業に加えて全中学校で保健福祉事務所の保健師を講師に「性感染症防止講演会」を実施している。
- このほか、他教科と関連させたり、助産師や赤ちゃん連れの母親を学校へ招いたりして、性教育を「いのちの授業」と捉えて指導を進めている。

●氏家康太議員

【自殺予防策と学校でのいじめ防止策について】

- 平成25年9月のいじめ防止対策推進法の施行を受け、市は平成27年4月に「海老名市いじめ防止条例」を制定した。
- また、学校ごとに「学校いじめ防止基本方針」を策定し、総合的・組織的に取り組みを進めている。
- 校内委員会の設置も義務付けており、教育相談やアンケート調査等により、いじめを認知した場合には、組織的・実効的に対処している。
- 対応は1人の教員では無理。必ずチームで対応することが求められる。
- 教員一人ひとりが「大切な命を扱っていること、一人ひとり違ってよい、その子の希望を尊重して育てること」を常に意識することが必要。

●久保田英賢議員

【学用品等経費負担のあり方について】

- 子どもたちの入学準備だけでなく、在学中も、保護者は多くの経費を負担しているが、これまで経費負担については公の場で議論や協議がされてこなかった。
- アンケートを実施したところ、高値感・負担感があることが分かった。
- 制服、ジャージ服、学用品については、価格や購入過程が不明確であるなど、課題があったことも事実。
- 保護者が負担する経費は、公正性を確保するとともに、説明責任を果たしていくことが必要。
- このため、平成29年度に保護者と校長会、教職員等の関係者で構成される「保護者負担経費検討委員会」を設置し、検討・協議を進めてきた。
- 同委員会から提言が提出されたことから、9月の定例教育委員会で審議し、教育委員会としての方向性を定めていきたい。

【学童保育事業の現状と今後のあり方について】

- 学童保育は、需要の拡大などから、今後も利用者が増加すると見込んでおり、課題と認識している。
- 事業所の増設を検討するにあたっては、需要数、地域性、学区のバランスを勘案した適正な配置を考慮することが求められる。

●森下賢人議員

【相模国分寺史跡等の利活用について】

- 整備状況としては、相模国分寺跡は 34,500 平方メートルのうち 77%を
公有地化しており、今年度新たに南東の1筆を買収予定。国分尼寺は
7,160 平方メートルのうち 68%を公有地化している。
- 国分寺跡は、今年度中に道路沿いに大型の案内看板を設置する予定。
- 尼寺跡は、広場として開放しており、見学のほか、地元自治会のレクリエ
ーション、防災訓練等でも活用いただいている。

【コミュニティ・スクールについて】

- 現在 19 校中 14 校が設置、12 月までに全校設置の予定。
- コミュニティ・スクールは学校・家庭・地域がともに子どもたちを育てていこ
うという取り組みであり、今後の学校の在り方の中心となるもの。これから 3
年くらいをかけて、その地域・学校に合った形を作り上げていただけたらと
思っている。

●山口良樹議員

【市立図書館について】

- 市立図書館は、平成 26 年度から指定管理者制度を導入している。
- 民間のノウハウが取り入れられ、ハード、ソフト両面において新たなサービ

スが提供されることで、より多くの市民に利用されるようになった。

- 指定管理者は、利用者からのご意見・ご要望を真摯に受け止め、迅速に改善を図るとともにサービスの向上に努めてきたと認識している。
- 外部機関による労働条件審査、第三者評価でも高い評価を受けており、アンケート調査においても、満足度が高い。
- よって、現指定管理者が適格性に欠けるという認識は持っていない。

●志野誠也議員

【市立図書館と門沢橋コミセンの指定管理について】

- 教育委員会では、市立図書館における指定管理者制度の継続にあたり、「ひろがる つながる みんなの図書館」とする基本方針定めた。
- 「学び」と「コミュニティ」の拠点施設とすべく、二館の「一体性」と地域性を踏まえた「独自性」を持たせ、魅力ある、進化する施設を目指していく。
- 今回の募集は、門沢橋コミセンとの複合施設である有馬図書館の改修提案を含め、ハード、ソフト両面において、教育委員会の基本方針を踏まえ、提案してもらおう。

【学校施設再整備計画について】

- 学校施設再整備計画は、市の「公共施設再編計画」の分野別計画。
- 策定にあたっては、“「持続可能」な「夢のある」計画”を基本的な考え方

とし、学校施設再整備計画策定検討委員会に諮問し、審議いただいた。

- 審議会では、将来の児童生徒数の減少や財源不足を見据え、各委員が「次の世代に付けを回さないために今の大人が何をすべきか」という共通の意識の下、広範な議論をいただいた。
- そして、適正な学校規模を維持しながら、学校が「みんなの学校」に進化していくことが望ましいとの答申をいただいた。
- 今後、学校は、教育施設としてだけでなく、広く利活用される「公共施設」との位置付けとなると考える。
- この答申を踏まえて教育員会として計画を策定し、各方面に理解を求めながら再整備を進めていきたい。

●松本正幸議員

【市立図書館のあり方について】

- ※※ 志野誠也議員と同様の答弁 ※※

●戸澤幸雄議員

【公共施設の今後について】

- 学校施設再整備計画は、学校施設の再整備を行うことで、本市の持続可能な行政経営を可能にするとともに、今と未来の海老名の子どもたちに

夢を持ってもらうことができる計画とすることを基本的な考えとしている。

- 策定にあたっては、児童生徒数の将来予測、学校施設の老朽化の状況の把握、財政状況の見通しなど、学校施設の現状と課題を整理した。
- それらを踏まえ、「持続可能」な「夢のある」計画として、学区の再編や学校の統廃合、複合化・多機能化、ユニバーサルデザインや木質化などを含む学校施設再整備方針を整理するとともに、向う 10 年間の短期計画、中長期 20 年、超長期 40 年の計画についての方向性を示している。

【教育について】（家庭学習に対する支援について）

- 家庭学習は、保護者の協力のもとに、家で行うものである。保護者向けに「家庭学習の手引き」等を発行して、学年に応じた学習時間の目安や自主学習の例を示している学校、懇談会の場で学習している内容やつまづきやすいポイントを保護者に伝え、保護者にこどもの家庭学習を支援してもらえるように工夫している学校がある。
- 今後も、学校と家庭が連携して家庭学習を進めていきたい。

●相原志穂議員

【子どもの見守りと相談体制について】

- 子どもの見守りについて、学校では、日常的に登下校の安全指導を行っている。また、小学校 1 年生には防犯ブザーの使い方を指導している。

- 警察署員を講師に防犯教室を実施している学校や、PTA との協働による防犯パトロールを実施している学校もある。
- 教育委員会では、青パトによる通学路安全パトロール、通学路への防犯カメラの設置、全小学校への安全監視員の配置等を行っている。
- 8月には小学校全校の基幹通学路上における、ブロック塀などの現況調査を実施し、結果を各校に情報提供している。
- 次に、いじめに係る相談の状況は、平成 29 年度のデータでは、相談総数 1,814 件のうち、いじめを主訴としたものは 8 件である。
- 最多は不登校の 749 件、次いで学業等 327 件、家族関係の順となっている。これらがいじめに繋がることが少なくないことから、すべての相談において丁寧に、注意深く対応している。また、支援センターでは、学校からの情報提供や相談を受け、担当の指導主事が支援等を行っている。

●福地茂議員

【学校での防災教育について】

- 「海老名市防災教育テキスト」は、小中学校の教員が中心となり作成し、平成 29 年度から全小中学校で活用している。
- 小学校低学年用・高学年用、中学生用の 3 冊で、9年間の発達段階に合わせて系統的な学習内容。

- 授業後のアンケートでは、99%の子どもが「地震からどのように身を守るか知識が増えた」と回答している。
- 今後も指導を継続することで、自分のいのちを守ることの大切さを学び、自ら判断して行動できる子どもたちを育てていきたいと考えている。

報告第17号

平成30年度教育委員会非常勤特別職の委嘱について

平成30年度教育委員会非常勤特別職の委嘱について、海老名市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教委規則第2号）第3条第1項の規定により臨時に代理し発令したので、同条第2項の規定により報告する。

平成30年9月21日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

報告理由

新たに非常勤特別職を委嘱したため

非常勤特別職(有鹿小学校学校運営協議会委員)の委嘱について

- 1 学校運営協議会委員について
学校運営への必要な支援及び協力を行う。
- 2 委嘱期間について
平成30年9月1日から平成32年8月31日まで
- 3 提案理由
新規委嘱
- 4 委嘱者

【新】

氏名	委嘱等内容	備考
うすいもとみ 碓井 雅巳	新規	学識経験者
かぎわたまさのり 鍵渡 正徳	新規	学識経験者
ほんだかずこ 本多 和子	新規	地域住民
きたがわやえこ 北川 八重子	新規	学校運営に資する活動を行う者
おおくほさとし 大久保 敏	新規	地域住民
あらいじゅん 荒井 純	新規	学校運営に資する活動を行う者
いとうえみこ 伊藤 恵美子	新規	学校運営に資する活動を行う者
こおりやまつよし 郡山 強	新規	校長
たかはしれいこ 高橋 玲子	新規	教頭
かねこみつる 金子 充	新規	教務主任

議案第20号

国指定史跡相模国分寺跡用地取得の申し出について

別紙のとおり、国指定史跡相模国分寺跡用地取得の申し出について、議決を求める。

平成30年9月21日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

提案理由

教育財産(2千万円以上)の取得の申し出をしたいため

国指定史跡相模国分寺跡用地取得の申出について

1. 目的

史跡の遺構保存と歴史公園として整備活用を図るため。

2. 取得申し出内容

土地買取り及びその土地に存する物件の移転など通常受ける損失補償。

3. 取得申し出地

(1) 地番

海老名市国分南一丁目 1739 番 1

(2) 土地の現況

①市街化区域 ②第1種住居地域 ③地目：宅地 ④面積：303.30 m²

4. 物件等補償

①建 物 木造亜鉛鉄板平屋建

②工作物 板塀、コンクリートブロック縁石、庭石など

③立竹木 クスノキ、ケヤキ、キリなど49本

5. 取得及び補償申し出年月日

平成30年9月下旬に申し出予定

6. 土地売買申出額

66,726,000円

7. 物件等補償額

14,029,170円

8. 史跡相模国分寺跡の概要

(1) 史跡指定区域の状況

史跡相模国分寺跡は、海老名市国分南一丁目にあり、海老名駅の東方約650mに位置し、都市計画法上の用途地域が第一種住居地域であり、周辺部は宅地となっている。

(2) 遺跡の概要

相模国分寺は、741年聖武天皇の国分寺建立詔を契機に海老名の地に設置された。西に塔、東に金堂、北に講堂を配する法隆寺式伽藍配置であり、発掘調査により各建物の基壇跡等の遺構が確認されている。その存在は古くから知られ、大正10年3月3日付で国指定史跡となった。指定面積は34472.73 m²である。

(3) これまでの保存整備活用

公有地化部分について整備工事を行い開放している。日常的な管理は地元自治会、ボーイスクウト、社会福祉法人に委託し、市主催のイベントや地域の行事などでも利用されている。

(4) 公有地化状況

現在、6,458.99 m²を公有地化、史跡指定地の公有地化率は76.75%となっている。

議案第21号

平成30年度全国学力・学習状況調査結果の公表及びその方法について

別紙のとおり、平成30年度全国学力・学習状況調査結果の公表及びその方法について、議決を求める。

平成30年9月21日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤文康

提案理由

平成30年度全国学力・学習状況調査結果の公表及びその方法について決定したいため

平成30年度全国学力・学習状況調査の公表及びその方法について

◆公表の目的

1. ひとりひとりの児童・生徒が、自分自身を改善する。
2. 学校が指導の改善に生かす。
3. 海老名市教育委員会が教育施策の改善に生かす。
4. 保護者・市民に公表し、学習習慣や生活習慣の改善に向けて協力を得る。

◆公表の方法

海老名市の結果

≪公表内容≫

平均正答率や分布、質問紙の結果を、全国・県との比較で、数値や文章で表記する。

- ① ダイジェスト版および結果概要
- ② 学力調査結果「小学校国語 A・B、小学校算数 A・B、小学校理科、
中学校国語 A・B、中学校数学 A・B、中学校理科」
※「問題の趣旨」「全体の正答率」「領域別の正答率」「内容について」
「考察」「これまでとの比較（平成 26 年度からの経年比較）」
「指導の改善にむけて」
- ③ 児童生徒質問紙調査結果
※主な質問紙の今年度の結果と経年変化
- ④ 教科に関する調査との関係（クロス集計）
- ⑤（新規）5年間のまとめ
※教科及び質問紙について「これまでの傾向」「今後の取組」をまとめる
- ⑥ ご家庭で協力していただきたいこと
- ⑦ 学力向上のための「8つの教育施策」について

≪周知方法≫

- 市HPにて公表する。（印刷物での配布はしない）
- 各校の結果冊子配布時に、保護者へ市HPのURLを掲載した学校メールを送信する。

各校の結果

《公表内容》

- ・ 全校同じ構成で公表するが、様式・内容については学校裁量とする。
- ・ 平均正答率は記載せず、文章で表記する。

① 各教科の調査結果

※分析による「優れている所」「努力を要する所」

※「これまでの取組から」「今後の具体的な取組について」

② 児童生徒質問紙の結果

※分析による「よかった所」「課題と思われる所」

※「これまでの取組から」「今後の具体的な取組について」

③ ご家庭で協力していただきたいこと

《周知方法》

○ 市HPにて公表する。

○ 冊子で全家庭に配付する。

※保護者宛文書に「QRコード」を掲載して、市のHPに公表している
「海老名市の結果」および「他の学校の結果」を閲覧しやすくする。

◆今後の予定

平成30年11月19日 市結果説明会

平成30年11月21日 教育委員会定例会 公表内容の決定

平成30年12月12日 児童生徒全家庭に各校の結果冊子を一斉配布

平成30年12月14日 ホームページ公開

(例)平成29年度の公表内容

海老名市の結果①

平成29年度全国学力・学習状況調査結果の分析による海老名市の児童生徒の状況について(ダイジェスト版)

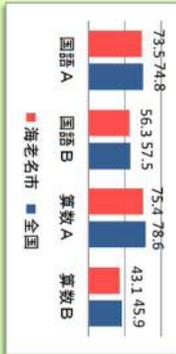
神奈川県海老名市教育委員会
平成29年4月18日実施
小学校第6学年・中学校第3学年

1 学力調査結果の概要

小学校 全国と比べてやや下回っています

平均正答率(%)

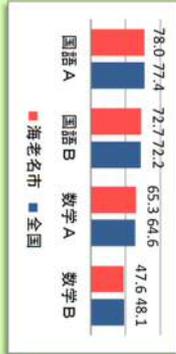
国語A	国語B	算数A	算数B
海老名市 73.5	56.3	75.4	43.1
全国 74.8	57.5	78.6	45.9



中学校 全国と比べてやや上回っています

平均正答率(%)

国語A	国語B	数学A	数学B
海老名市 78.0	72.7	65.3	47.6
全国 77.4	72.2	64.6	48.1

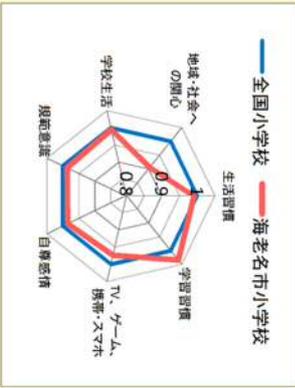


3 海老名市の教育施策(学力・学習状況等の改善のために)

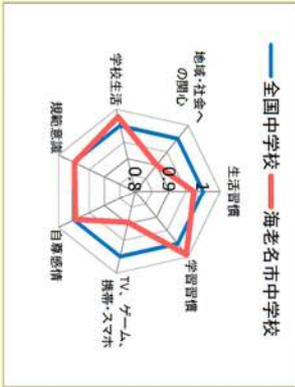
- 1 少人数学級・少人数指導のための教員を配置します
- 2 補助指導員を配置します
- 3 教員の研修・研究を推進します
- 4 コンピュータ利用教育を推進します
- 5 授業の改善に取り組んでいます
- 6 「学校応援団」による学校支援を進めています
- 7 学習支援ボランティアを充実します
- 8 小中一貫教育を推進します

2 児童生徒質問紙調査結果の概要

小学校 学習習慣は良好です



中学校 学習習慣、学校生活は良好です



4 ご家庭で協力していただきたいこと

- ☆テレビ、ゲーム、携帯電話・スマートフォンは、時間とルールを決めて使しましょう。
携帯電話等を所持する児童生徒は、年々増加しています。情報モラル等についても家族で話し合います。
- ☆家庭学習は時間を決めて、毎日行いましょう。
宿題(予習・復習)を中心に、計画的に取り組みましょう。
- ☆授業参観や学校の行事に参加しましょう。
子どもの頑張る姿を見て、たくさんほめましょう。
- ☆地域の方々と顔が見える「つながり」を作りましょう。

ご協力をおねがいします!



- ◆家庭での学習時間に改善が見られます
- ◆TV・ゲームの時間が長いです
- ◆地域の行事への参加が少ないです

- ◆学校生活が充実しています
- ◆携帯・スマホの時間がかなり長いです
- ◆地域・社会への関心が低いです

海老名市の結果概要

平成29年度
全国学力・学習状況調査

教科に関する調査の結果

*平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

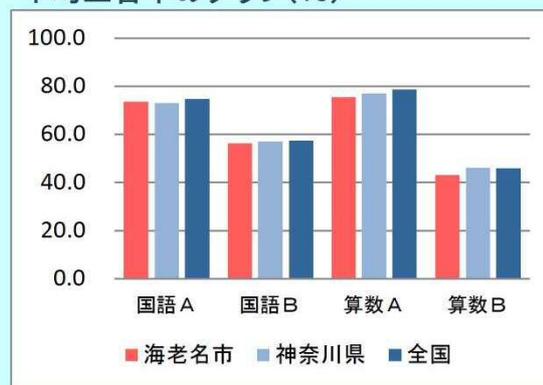
小学校

全国と比べてやや下回っています

平均正答率(%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
海老名市	73.5	56.3	75.4	43.1
神奈川県	73.0	57.0	77.0	46.0
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

平均正答率のグラフ(%)



★国語は、全国と比べて平均正答率が同程度です。

★算数は、昨年度と比べて全国との差が大きくなっています。



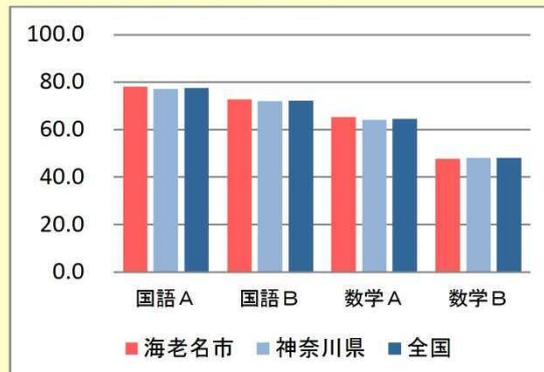
中学校

全国と比べてやや上回っています

平均正答率(%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
海老名市	78.0	72.7	65.3	47.6
神奈川県	77.0	72.0	64.0	48.0
全国	77.4	72.2	64.6	48.1

平均正答率のグラフ(%)



★国語・数学Aは、全国と比べて平均正答率が上回っています。

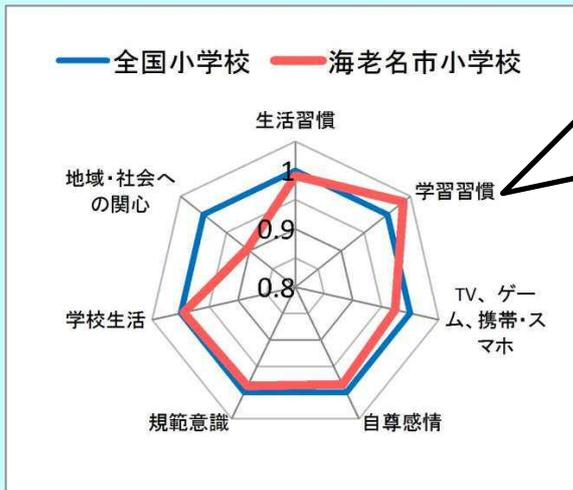
★数学Bは、全国と比べてやや下回っています。



児童生徒に対する質問紙調査の結果

小学校

学習習慣は良好です



児童質問紙より (全国平均を「1」としたときの比較)

平成30年度は、質問紙の内容が変更になったため、

- ◆生活習慣 ◆学習習慣 ◆自尊感情
 - ◆規範意識 ◆地域・社会への関心
 - ◆主体的・対話的で深い学び
- の6本の柱となります。

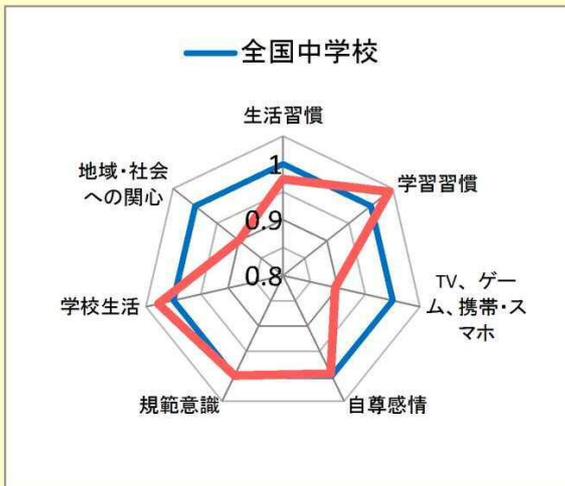
○TV・ゲームや携帯・スマホの時間について、学校と家庭が連携して対応する必要があります。

○地域のイベントに積極的に参加するなど、学校と地域の相互連携の必要があります。



中学校

学習習慣、学校生活は良好です



生徒質問紙より (全国平均を「1」としたときの比較)

○学習習慣については、これまでと同様に身につけています。

○集団として協力し達成感を味わい、充実した学校生活を送っています。

○TV・ゲームや携帯・スマホの時間が長く、それを含めて生活習慣を改善する必要があります。

○引き続き、地域とかかわる機会を広げ、地域の一員としての活動を充実させる必要があります。



小学校国語 A (主として「知識」に関する問題)

平成29年度
全国学力・学習状況調査

問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、これからの学習や生活をする上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力について調べる問題です。漢字、ことわざ、言葉の意味や使い方、文章の読み取り、手紙の構成などが出題されています。

全体の正答率

* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

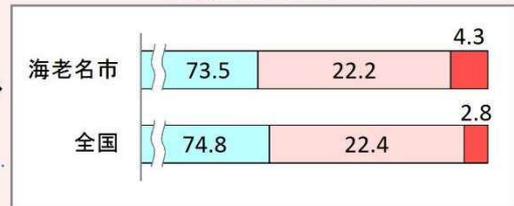
平均正答率は全国と比較して
1.3ポイント下回っています

《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語A	73.5	73.0	74.8	-1.3

《誤答の内訳(%)》

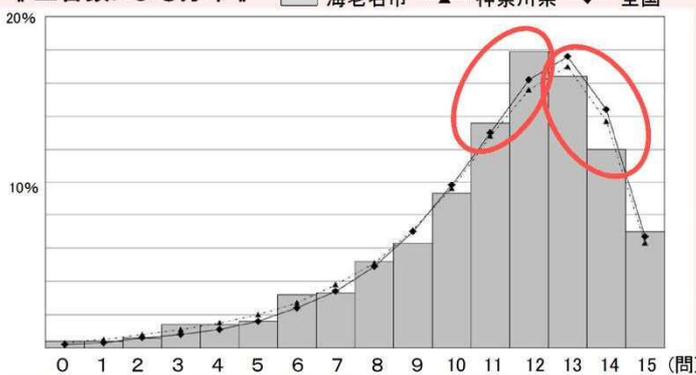
■ 正答 ■ 誤答(書いたが不正解だった)
■ 無解答(何も書かなかった)



無解答率(何も書かなかった)は4.3%でした。

分布の様子は…

《正答数による分布》



全国と比較すると
11~12問の児童が特に多く
13~14問の児童が少ないことがわかります

* 正答率50%以下(0~7問)の児童の割合は12.2%でした。(全国は10.4%)

* 正答率80%以上(12~15問)の児童の割合は53.3%でした。(全国は54.7%)

領域別の正答率

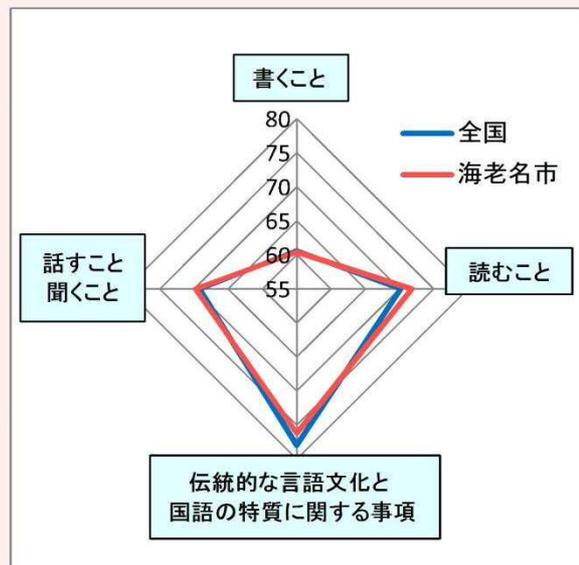
「話すこと・聞くこと」「読むこと」
が全国をやや上回っています

《平均正答率(%)》

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	69.8	69.2	+0.6
書くこと	60.4	60.6	-0.2
読むこと	71.8	70.2	+1.6
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.2	78.0	-1.8

* 「読むこと」については、1.5ポイント以上、上回っていました。

* 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、1.8ポイント下回っていました。



内容について

* ()内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った設問	○ 俳句について話し合った文を読んで話し合いの要点を選ぶ。(+3.0)
	○ 古文を音読して気がついたことのメモを見て、何をまとめたものか選ぶ。(+1.8)
	○ お礼の手紙を読んで、書かれた内容の説明を選ぶ。(+1.2)

全国を下回った設問	○ 漢字を書く。(対象) (-9.7) (置いてある) (-5.3)
	○ 漢字を読む。(事務室) (-3.1) (指示) (-2.0)
	○ ことわざの意味を読んで、正しい使い方の文を選ぶ。(もちはもち屋) (-1.9)

国語Aで平均正答率が全国を下回った設問の例

漢字の読み書きの設問

―― 部の漢字の読みをひらがなで、--- 部のひらがなを漢字で、それぞれていねいに書きましょう。

4年生のみなさんへ

放送委員会

委員会活動の体験のお知らせ

1 日時 2月19日(月)～2月22日(木) 10時25分から10時45分まで

2 集合場所 多目的ルーム

3 参加たいしょう 4年生のきぼう者
 (1) (全国との比較-9.7) (2) (全国との比較-1.0)

4 申し込み期限と申し込み方法
 (3) (全国との比較-1.9)
 ・ 2月14日(水)までに申しこんでください。
 ・ 事務室前に申し込み用紙と箱が置いてあります。用紙にクラスと名前を書いて、
 (4) (全国との比較-3.1) (5) (全国との比較-5.3)
 箱に入れてください。

5 お願い
 ・ 当日は、全員が体験ができるように、放送委員の指示にしたがってください。
 (6) (全国との比較-2.0)

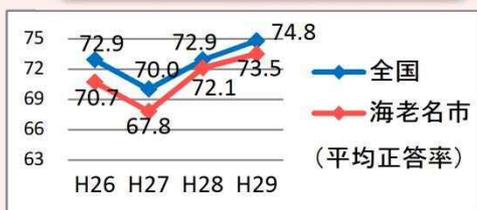


☆国語Aのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

考察

- ◆ 全国と比べて、正答数が11～12問の児童が特に多く、13～14問の児童が少ないことから各領域において確実な定着を図る必要がある。
- ◆ これまでも言語に関する事項に課題が見られたが、今年度は特に漢字の読み書きに大きな課題があり、確実に身につけるための指導の工夫が求められる。
- ◆ 文章中から表現の仕方や必要な情報を読み取ることができており、経年比較から見ても確実に読む力が伸びてきている。

これまでとの比較



- ◆ 平成29年度は平成28年度に比べて差が大きくなっているが、以前よりは差が小さい。
- ◆ 平成26・27年度は全領域において全国を下回っていたが、平成28年度は3領域、平成29年度は2領域で全国を上回っている。

指導の改善にむけて

- ◆ 「言語事項を確実に身につける」ために
 - 漢字について、日常の中で繰り返し指導するなど、工夫を図る。
- ◆ 「基礎的な力の定着を図る」ために
 - 一問一答ではなく、複数のことを考えあわせてよりよい考えを導くような活動を継続する。

平成29年度 全国学力・学習状況調査
～児童・生徒質問紙調査より～

子どもたちの生活の様子

家庭・地域

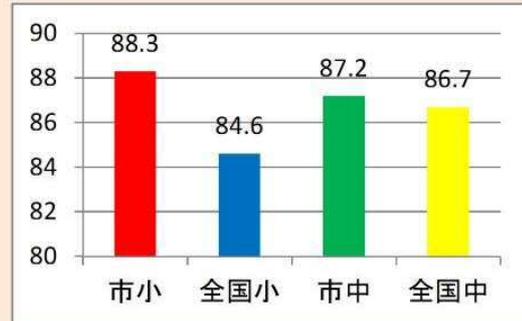
今年度の結果

○学校教育活動に対する家庭の関心は高く、協力的です。家族と一緒に地域の行事やボランティア活動等に参加しましょう。

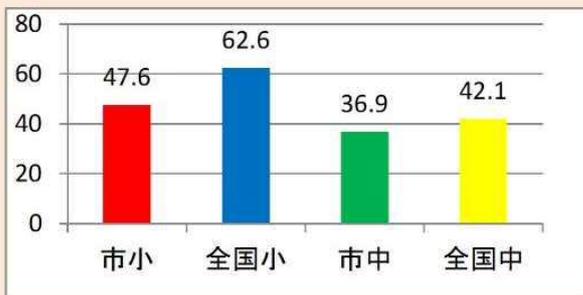
家の人が授業参観・運動会等の学校行事にきている



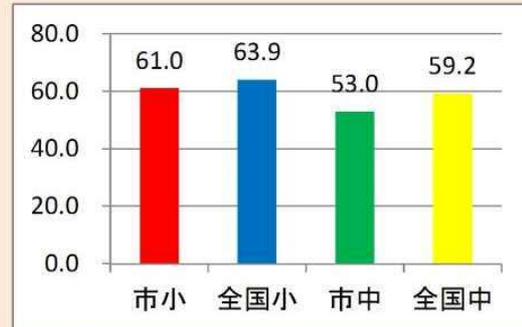
ニュース(テレビ・インターネット等)を見る



今住んでいる地域の行事に参加している



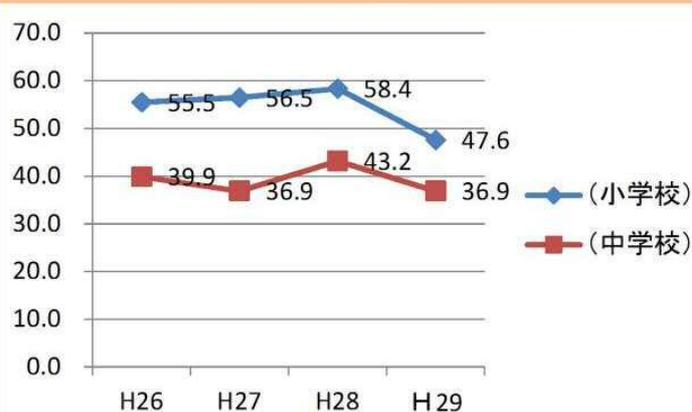
地域や社会の出来事に関心がある



※グラフは、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」の回答率を合計した数値で示しています。

4年間の比較

今住んでいる地域の行事に参加している



◎児童生徒は、社会への関心が高い一方で、地域の行事への参加は、全国に比べ、下回っています。

学校・家庭・地域が連携し、積極的に、地域の行事等への参加を促していく必要があります。

※グラフは、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」の回答率を合計した数値で示しています。

平成29年度
全国学力・学習状況調査

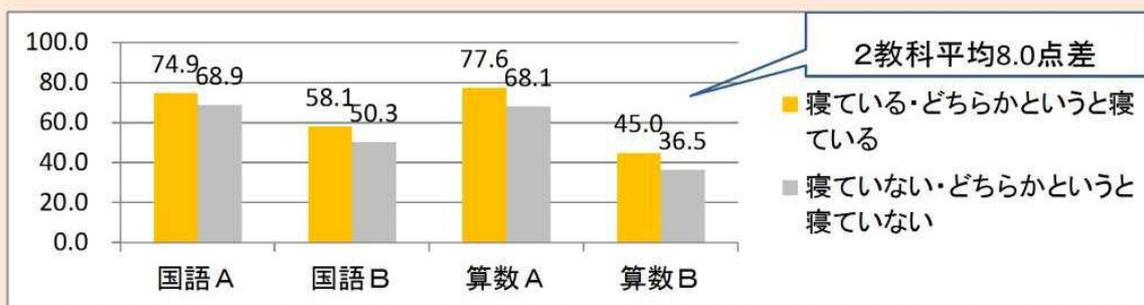
教科に関する調査との関係 (小学校)

○生活習慣は学習成果と密接に関連していることがわかります。特にゲームは家庭内で約束・時間を決めて遊ぶことが大切です。

「朝食を毎日食べている」という質問と教科ごとの平均正答率との関係



「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という質問と教科ごとの平均正答率との関係



「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という質問と教科ごとの平均正答率との関係



「普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか」という質問と平均正答率との関係



国語A (主として「知識」に関する問題)

これまでの傾向

5年間の調査結果において、同じような趣旨の下に複数年にわたって出題された設問より

◆5年間の調査結果から一定の成果として認められる内容

○……………

○……………

◆5年間の調査結果から課題として考えられる内容

○……………

○……………

今後の取組

課題として考えられる内容に対する学習指導のポイント

○……………

……………

○……………

……………

国語B (主として「活用」に関する問題)

これまでの傾向

5年間の調査結果において、同じような趣旨の下に複数年にわたって出題された設問より

◆5年間の調査結果から一定の成果として認められる内容

○……………

○……………

◆5年間の調査結果から課題として考えられる内容

○……………

○……………

今後の取組

課題として考えられる内容に対する学習指導のポイント

○……………

……………

○……………

……………

**テレビ、ゲーム、携帯電話・スマートフォンは、
時間とルールを決めて使いましょう。**

携帯電話等を所持する児童生徒は、年々増加しています。
情報モラル等についても家族で話し合いましょう。

家庭学習は時間を決めて、毎日行いましょう。

宿題（予習・復習）を中心に、計画的に取り組み
ましょう。

授業参観や学校の行事に参加しましょう。

子どもの頑張る姿を見て、たくさんほめましょう。

地域の方々と顔が見える「つながり」を作りましょう。

地域の行事等に関心を持ち、家族で進んで参加しましょう。

ご協力を
お願いします！



1

少人数学級・少人数指導のための教員を配置します

ひとりひとり子どもの学力に応じたきめ細かな指導を目的として、市費で非常勤教員を配置して、35人以下の学級や少人数での学習指導を行っています。



他市に先駆けて、平成17年度からスタートし、平成29年度は市費で小学校4名、中学校2名の非常勤教員を配置しています。

平成29年度予算
1,711万2千円

2

補助指導員を配置します

学習支援が必要な子どものために、市費で教員資格を持つ補助指導員を配置しています。



その他は

- 3 教員の研修・研究を推進します
- 4 ICT活用教育を推進します
- 5 授業の改善に取り組んでいます
- 6 「学校応援団」による学校支援を進めています
- 7 学習支援ボランティアを充実します
- 8 小中一貫教育を推進します

各校1名の指導員を
個別の学習支援を行

学校

平成29年度予算
3,147万4千円

国語に関する調査結果

国語 A (主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

○

○

国語 B (主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

○

○

○ページ内の文言・様式については、学校裁量で
変更することができる。

○保護者にとって、分かりやすい表現にする。

《努力を要する所》

○

《努力を要する所》

○

これまでの取組から

○

○

今後の具体的な取組について

○

○

イラストは各校で
変えてください。
(他のページも)



児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

○

○

《課題と思われる所》

○

○

生活について

《よかった所》

○

《課題と思われる所》

○

○

○このページの表記の仕方は、数値を使って具体的に記述してもよい。

これまでの取組から

○

○

今後の具体的な取組について

○

○



平成30年12月 日

保護者 様

海老名市立〇〇〇学校
校長 〇〇 〇〇

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の公表について

日頃より、本校の教育活動にご支援をいただき心より感謝申し上げます。

さて、海老名市では、平成26年度より、全国学力・学習状況調査の「市の結果」と「学校の結果」を公表しているところです。

つきましては、別冊のとおり、「本校の結果」をまとめた冊子を配布いたしますので、お読みいただき、今後の学校の取組やご家庭での取組について、ご理解とご協力をお願いいたします。

また、「市の結果」と「他の学校の結果」については、市のホームページで公表しておりますので、ご覧ください。

なお、結果の公表にあたっては、次の点にご留意いただきますようお願いいたします。

<結果の公表にあたって>

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- また、公表することによって、保護者や市民の皆様に、市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。

平成30年12月 海老名市教育委員会

「市の結果」
「他の学校の結果」



【市の結果についての問い合わせ先】

海老名市教育委員会教育部

教育支援課 指導係

電話 046-235-4919

海老名市 全国学力

検索



議案第 22 号

「海老名市保護者負担経費の在り方についての方針」について

別紙のとおり、「海老名市保護者負担経費の在り方についての方針」について、議決を求める。

平成 30 年 9 月 21 日提出

海老名市教育委員会
教育長 伊藤 文康

提案理由

「海老名市保護者負担経費の在り方についての方針」を決定したいため

海老名市保護者負担経費の在り方についての方針（案）

海老名市教育委員会は、海老名市立小中学校における保護者負担経費の在り方についての方針を次のとおり定める。

各小中学校においては、この方針を基に、保護者負担経費の更なる適正化への取り組みを進めていくものとする。

また、教育委員会は、広く意見を聞くとともに、社会情勢の変化等を勘案しながら、方針の適宜見直しを図るものとする。

平成 30 年 9 月 21 日
海老名市教育委員会

1 制服について

- ◆各校の仕様書を作成し、業者に広く周知することによって、取扱店・販売店の拡大を図り、保護者負担を軽減する。
- ◆市ホームページに各校の制服・ジャージ服の販売店・価格等を公開することで、入学以前から保護者が情報を入手できるようにする。
- ◆仕様等を変更する場合は、生地について、現状では、各校とも生地から特注するために価格が上昇している面があることから、汎用性があり流通している生地を使用する。
- ◆制服のリユースの方法について検討する。

2 ジャージ服（上下）について

- ◆各校で選定委員会を組織し、仕様書を作成したうえでコンペ※ を行う。
- ◆決定業者との契約期間は3年～6年を目安とする。
- ◆ジャージ服のカラー分けについては、各校で必要性の議論を行う。
- ◆ジャージ服（ハーフパンツ）についても、ジャージ服（下）との関連でコンペを行う。

3 上履き（兼体育館履き）について

- ◆各校で選定委員会を組織し、仕様書を作成したうえでコンペ等を行う。
- ◆決定事業者との契約期間は3年～6年を目安とする。

4 運動用 Tシャツ・短パン・ワイシャツ・ポロシャツについて

- ◆仕様を定めた上での自由化が望ましい。
- ◆既に実施している学校もあるが、全ての学校が平成 31 年度からの実施が望ましい。
- ◆学校で指定していないものについても、販売店で推奨品としていることもあるため、学校から保護者に対し、基本仕様に沿ったものであれば販売店以外でも自由にご購入することを周知する必要がある。

5 修学旅行について

- ◆決定した内容は、保護者に実施の趣旨を正しく理解してもらえよう、充分周知して、説明責任を果たしていく。
- ◆保護者や児童・生徒の意見を聞くことを検討する。
- ◆複数の旅行会社によるプレゼンテーションや見積合わせを実施する際には、上限金額は伝えないことを検討する。
- ◆様々な課題があるため、今後の方向性については別途検討会を立ち上げて検討することも考える。

6 教材について

- ◆学校で指定していないものについても、販売店で推奨品としていることもあるため、学校から保護者に対し、基本仕様に沿ったものであれば、販売店以外でも自由にご購入することを周知する必要がある。

7 卒業アルバムについて

- ◆選定委員会で検討のうえ、学校ごとのコンペ等の実施を検討する。

8 学校からの保護者説明について

- ◆入学時に、小学校は 6 年間、中学校は 3 年間で必要な経費及びスケジュールについて、学校から保護者へ説明する。また、年度当初の 4 月に、各学年の 1 年間のスケジュールについて学校から保護者へ説明する。

9 公的支援について

- ◆市内小中学校の授業で使用する彫刻刀と柔道着について、彫刻刀は全小・中学校へ、柔道着は全中学校へ一定数を配備し無償貸与しているが、今後も、毎年活用するもので使用頻度の低い教材等については、無償貸与することを検討する。

10 その他

- ◆ ジャージ服、上履き、教材等について、モデル校で実施しているコンペや選定委員会での先行的な取り組みを参考にし、学校が日常で使用している様々なものについて、コンペ等で決めていくことを検討する。併せて、条件を設定のうえ、市販品も可とするなど、一定の自由度を持たせる方法も検討する。
- ◆ ジャージ服等の選定にあたっては、必要に応じて選定委員会を開催し、選定委員会の委員に第三者（学校運営協議会委員、保護者等）を入れて選定する。
- ◆ コンペ等、取り組みの実施後は、各校及び教育委員会において効果検証を実施し、軽減効果が図られない場合は他の方策を検討する。
- ◆ 各校が自主的、継続的に見直しを講じられるよう、教育委員会として、全校の状況が分かる資料を作成して公開したり、他市の動向に関する情報を提供したりする。
- ◆ 教育委員会は、選定にあたって公平性・透明性の確保に努める。

※コンペ（コンペティションの略）

複数の業者からの提案を、書類審査とプレゼンテーションにより競わせ、選定委員会が最も適した業者の提案を選定する方式。

「海老名市保護者負担経費の在り方について」
【報告書】

平成 30 年 9 月 21 日

海老名市保護者負担経費検討委員会

はじめに

子どもたちの学校生活の中では、教材費や通学用服(制服)、修学旅行費など、さまざまな経費を保護者が負担している。経費負担の現状として、例えば市立中学校の制服等の負担額においては、「多くの保護者が割高感・負担感を持っている」、「学校間で金額に差がある」などの実態がある。また、制服に限らず、保護者が経費を負担する製品や金額の決定プロセスで、透明性の確保に課題があることも指摘されているところであるが、これまで公の場でそれらに関する議論はなされずにいた。

このため、海老名市保護者負担経費検討委員会では、平成29年7月から平成30年8月まで、海老名市立小中学校における保護者負担経費の在り方について、「公平性を確保すること」、「保護者への説明責任を確実に果たすこと」を基本的な考え方として、協議・検討を進めてきた。

本報告書は、市内小中学校を対象に保護者が負担する制服、ジャージ服、上履き、修学旅行などの必要経費について幅広く調査し、海老名市の保護者負担経費の実態を把握したうえで、「制服」「ジャージ服(上下)」「上履き(兼体育館履き)」「運動用Tシャツ等」「修学旅行」「教材」「卒業アルバム」等や「学校からの保護者説明」「公的支援」について、検討委員会で検討・協議した結果を提言としてまとめたものである。

今後は、報告書に示した提言について、その周知や説明を十分に行っていき、学校・家庭・行政で連携した取組を行うことによって、保護者負担経費の適正化に積極的な推進を望むものである。

【参 考】

平成30年3月の文部科学省通知「学校における通学用服等の学用品等の適正な取扱いについて」では、「保護者の経済的負担軽減に係る留意事項」の中で「教育委員会は、保護者等ができる限り安価で良質な学用品等を購入できるよう所管の学校における取組を促すとともに、各学校における取組内容の把握に努めること。」としている。また、「通学用服の選定等に当たっての留意事項」の中では「学校における通学用服の選定や見直しについては、教育委員会は、所管の学校において通学用服の選定や見直しが適切に行われるよう、必要に応じて指導を行うこと。」としている。

1

海老名市保護者負担経費検討委員会 について

1-1 検討委員会の目的

海老名市立小中学校における学用品の購入等に係る保護者負担経費について調査し、その在り方について検討・協議し、保護者負担軽減の方策を探るとともに、海老名市としての今後の方向性を定める。

1-2 検討委員会の構成

本検討委員会の構成員は次の13名である。

委員長	海老名市教育部長	岡田 尚子
副委員長	海老名市立小学校長会代表	秋山 範子
委員	海老名市立小学校単位 PTA 会長会代表	市川 弘秋
	海老名市立小学校保護者代表	中村 賀子
	海老名市立小学校保護者代表	瀧井 由美
	海老名市立中学校保護者代表	吉崎 真美
	海老名市立中学校保護者代表	塩見 紀子
	海老名市立中学校長会代表	飛矢崎 義基
	海老名市立小学校教頭会代表	宮原 秀子
	海老名市立中学校総括教諭代表	竹島 和也
	海老名市教育委員会教育部次長	金指 太一郎
	海老名市教育委員会教育部次長	小宮 洋子
	海老名市教育委員会就学支援課長 (平成29年度就学支援課長)	小林 丈記 (奥泉 憲)
事務局	海老名市教育委員会就学支援課	

1-3 検討の経過

本検討委員会は平成29年7月27日に発足し、計8回にわたって次の内容について協議を行った。

【第1回会議】平成29年7月27日(木) 18時00分～19時30分
海老名市役所 705会議室

- 事務局による説明と確認
 - ・検討委員会概要
 - ・保護者負担経費の現状
 - ・保護者の持つ負担感について

- ・保護者アンケートの実施について
- 保護者負担経費についての自由協議

【第2回会議】平成29年10月6日（金）15時00分～17時05分

海老名市役所 705 会議室

- 保護者アンケートの結果について事務局より説明
 - ・小学校アンケート結果報告
 - ・中学校アンケート結果報告
- アンケート結果について委員から意見聴取
- 保護者負担軽減策の方策検討

【第3回会議】平成29年11月27日（月）15時00分～17時00分

海老名市役所 705 会議室

- 彫刻刀と柔道着について
 - ・彫刻刀及び柔道着を市費で購入し、学校管理物品として児童生徒に貸与することで保護者負担の軽減を図る。彫刻刀は全小・中学校へ、柔道着は全中学校へ一定数を配備する。
- 制服について
 - ・学校間の価格差を減らすことについて検討
- ジャージ服、運動着、上履きについて
 - ・現状と今後の方向性を検討

【第4回会議】平成30年2月5日（木）15時30分～17時00分

海老名市役所 705 会議室

- 公正取引委員会の公立中学校における制服の取引実態に関する調査報告書について
- 近隣市の状況及び海老名市との比較について
- 中学校制服・ジャージ服等に関する保護者負担軽減策について
 - ・公正取引委員会の提言を踏まえて、以下の4つの軽減策についてのメリット、デメリット等を説明
 - ① コンペ・入札・見積もり合わせの実施
 - ② 取扱店の拡大
 - ③ デザイン・仕様の統一
 - ④ 基本仕様を学校で指定し、基本仕様に沿うものを保護者が自由に購入する。

【第5回会議】平成30年3月27日（火）15時30分～17時00分

えびなこどもセンター 201 会議室

- 中学校制服・ジャージ服等に関する保護者負担軽減策について（事務局による概要等説明）

- ・市教委にて、仕様書の作成と制服等の販売店や価格についてホームページで公開を行う。
- ・制服とジャージ服の議論をするうえで、前提としてはデザインの変更は行わない。(変更を禁止するものではなく市教委としてデザインの変更を指示することはしない。)

◆制服・ジャージ服について

- ・コンペ実施、取扱店、販売店の拡大を案とし、実施の際の流れやメリット、デメリットについて説明

◆運動用Tシャツ・短パン・ワイシャツ・ポロシャツについて

- ・仕様を定めた上での自由化が望ましい旨の説明

◆上履き（兼体育館履き）

- ・一定の機能性の確保及び家庭の経済状況による格差を配慮し、各校毎で統一のもの使用が望ましく、さらにコンペ実施による決定が望ましい旨の説明

○修学旅行の現状と保護者負担軽減策について

(事務局による概要等説明)

- ・市内中学校の行先、金額、決定のプロセス、平成 29 年 8 月に実施した保護者アンケートの修学旅行に関する意見を紹介

【第 6 回会議】平成 30 年 5 月 22 日（火）15 時 30 分～17 時 00 分

えびなこどもセンター 201 会議室

○制服・ジャージ服等の今後の方向性について（前回のまとめ）

○モデル校でのコンペ実施について

- ・今年度に先行モデルとして、1 校でコンペを実施することで、
 - ① 保護者負担軽減の効果を図る。
 - ② コンペ実施のノウハウを蓄積させ効率的に実施できるようにする。
- ・コンペ実施校：海老名中学校
- ・コンペ対象：【ジャージ服（上・下）】、【上履き（兼体育館履き）】

○修学旅行の課題と保護者負担軽減策について

(事務局にて概要等説明)

- ・修学旅行の課題について、保護者アンケートの意見も紹介しながら提示
- ・保護者負担軽減策の現状と新たな軽減策について説明

【第 7 回会議】平成 30 年 7 月 25 日（水）15 時 30 分～17 時 00 分

えびなこどもセンター 301 会議室

○「海老名市保護者負担経費の在り方についての提言」（案）について

【第 8 回会議】平成 30 年 8 月 30 日（木）15 時 30 分～17 時 00 分

えびなこどもセンター 301 会議室

○「海老名市保護者負担経費の在り方について」報告書【案】について

2

海老名市保護者負担経費に係る現状と課題

2-1 保護者が負担している主な経費

市教育委員会では、学校別の制服やジャージ服等の価格、制服・運動着・上履き等の比較、教材費の学校別平均額、修学旅行に係る経費、卒業アルバム代、新入生にかかる物品を調査し、平成29年度の第1回総合教育会議で提示した。

(平成28年度の数值)

○学校別制服、ジャージ服等

単位：円

	海老名中学校				有馬中学校				海西中学校	
販売店	ヤマ・ミチル		クラスルーム ※		ヤマ・ミチル		クラスルーム ※		ヤマ・ミチル	
男女別	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
制 服	57,150	59,202	51,520	44,370	56,852	52,424	43,782	43,458	61,992	61,631
ジャージ服等	18,036				18,144	17,604	18,144	17,604	18,468	
合 計	75,186	77,238	69,556	62,406	74,996	70,028	61,926	61,062	80,460	80,099
	柏ヶ谷中学校		大谷中学校				今泉中学校			
販売店	ヤマ・ミチルほか5店		ヤマ・ミチル		クラスルーム ※		ヤマ・ミチル			
男女別	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
制 服	58,526	62,258	53,626	52,105	36,010	36,014	57,564	60,588		
ジャージ服等	16,092		17,550				17,280			
合 計	74,618	78,350	71,176	69,655	53,560	53,564	74,844	77,868		

※クラスルームのスホンはオールシーズンタイプのため1本で、その他のスホンは夏冬用2本で計上。

○制服・運動着・上履き等（比較）

単位：円

		制 服	ジャージ服等	合 計
平 均	男子	53,002	17,595	70,597
	女子	52,450	17,505	69,955
最高額	男子	61,992 (海西中学校)	18,468 (海西中学校)	80,460 (海西中学校)
	女子	62,258 (柏ヶ谷中学校)	18,468 (海西中学校)	80,099 (海西中学校)
最低額	男子	36,010 (大谷中学校)	16,092 (柏ヶ谷中学校)	53,560 (大谷中学校)
	女子	36,014 (大谷中学校)	16,092 (柏ヶ谷中学校)	53,564 (大谷中学校)

○教材費（学校別平均額）※

単位：円

学校名	金額	学校名	金額	学校名	金額
海老名小学校	9,144	門沢橋小学校	9,347	海老名中学校	17,973
柏ヶ谷小学校	8,970	東柏ヶ谷小学校	8,945	有馬中学校	15,569
有鹿小学校	9,742	社家小学校	8,641	海西中学校	18,394
有馬小学校	9,337	杉久保小学校	9,193	柏ヶ谷中学校	14,763
大谷小学校	8,823	今泉小学校	9,551	大谷中学校	13,933
上星小学校	8,523	杉本小学校	9,936	今泉中学校	16,922
中新田小学校	8,502				

○教材費（学年別平均額）※

単位：円

小学校		中学校	
学年	金額	学年	金額
1年	9,920	1年	16,078
2年	6,925	2年	14,568
3年	9,059	3年	17,502
4年	8,918		
5年	9,584		
6年	10,358		

※教材費：1年生の児童生徒については、小学校10,000円、中学校17,000円を市より援助している。

○修学旅行（小学校：行先は全小学校で日光）

単位：円

学校名	金額	学校名	金額
海老名小学校	20,072	門沢橋小学校	23,670
柏ヶ谷小学校	19,653	東柏ヶ谷小学校	18,958
有鹿小学校	20,667	社家小学校	20,400
有馬小学校	21,713	杉久保小学校	21,810
大谷小学校	21,167	今泉小学校	20,870
上星小学校	22,120	杉本小学校	21,330
中新田小学校	20,256		

○修学旅行（中学校）

単位：円

学校名	金額	行先
海老名中学校	54,440	京都・奈良
有馬中学校	54,465	神戸・淡路島・京都
海西中学校	53,998	石川
柏ヶ谷中学校	55,700	広島
大谷中学校	50,837	京都・滋賀
今泉中学校	55,871	京都・滋賀

○卒業アルバム（小学校）

単位：円

学校名	金額	3月の児童数	学校名	金額	3月の児童数
海老名小学校	6,700	133	門沢橋小学校	7,900	88
柏ヶ谷小学校	7,600	78	東柏ヶ谷小学校	7,600	107
有鹿小学校	7,000	95	社家小学校	8,900	61
有馬小学校	8,000	64	杉久保小学校	7,400	101
大谷小学校	7,000	107	今泉小学校	6,900	99
上星小学校	7,400	92	杉本小学校	7,200	121
中新田小学校	7,400	82			

○卒業アルバム（中学校） 単位：円

学校名	金額	3月の生徒数
海老名中学校	6,500	174
有馬中学校	5,900	217
海西中学校	6,500	185
柏ヶ谷中学校	5,500	247
大谷中学校	5,500	199
今泉中学校	6,048	188

○新入生にかかる物品（小学校1年生）

単位：円

購入物品	金額	購入物品	金額
ランドセル	20,000～50,000程度	体操着・上履き	3,000
教材費	9,920	防災ずきん	2,000
遠足（校外活動費）	2,117	白衣セット	1,000
鍵盤ハーモニカ	4,000	給食費	42,300
絵具セット	4,500	合計	88,837～118,837程度

○新入生にかかる物品（中学校1年生）

単位：円

購入物品	金額	購入物品	金額
制服	36,000～62,000程度	リコーダー （アルト）	3,000
ジャージ服等	18,000	遠足（校外活動費）	1,932
教材費	16,708	ミルク給食費	5,200
柔道着	5,000	合計	85,840～111,840

2-2 保護者負担経費検討に係るアンケート調査結果

保護者の生の声を聴き、検討委員会での議論および今後の方向性に反映させるため、アンケートを行った。

《調査実施日》 平成29年8月25日～9月10日

《調査対象》 海老名市立小・中学校に通う児童・生徒の保護者で、学校メールの登録のある方 11,439名

《回答者数・回答率》

回答者数 1,481名（小学校：1,055名・中学校：426名）

回答率 12.9%（小学校：13.6%・中学校：11.6%）

1 アンケート結果

(1) 負担をどう感じたか。

小学校では入学準備、運動着等、中学校ではジャージ服等、修学旅行、教材費で負担を感じている割合が高い。

	小学校		中学校	
	感じた	感じない	感じた	感じない
教材費	44%	34%	49%	26%
新入学準備	51%	23%	63%	18%
ジャージ服等	50%	10%	76%	10%
修学旅行	48%	17%	63%	13%
卒業アルバム	32%	29%	36%	36%

(2) 見直し（検討）等を行うことをどう考えるか。

制服、ジャージ服等、技能実技教材(柔道着・彫刻刀等)で、価格抑制を目的とした見直し・検討を必要と感じる割合が高い。

	小学校		中学校	
	賛成	反対	賛成	反対
技能実技教材	77%	5%	74%	7%
制服	84%	2%	80%	4%
ジャージ服等	80%	2%	81%	2%
修学旅行	60%	8%	66%	4%
卒業アルバム	58%	6%	56%	8%

※「感じた」・「賛成」には、どちらかといえば「感じた」・「賛成」を、「感じない」・「反対」には、どちらかといえば「感じない」・「反対」を含む

(3) 制服の適正と思う価格について

50,000円未満が適正と感じる保護者が小学校で67%、中学校で65%となった。

	50,000円未満	60,000円未満	70,000円未満	70,000円以上
小学校	67%	25%	5%	3%
中学校	65%	25%	4%	6%

2 アンケートに寄せられた意見（意見の多かったもの）

【制服】

- ・制服が高いと感じる（175件）
- ・ポロシャツ等の指定をやめて、ある程度自由に選べるようになるとよい（46件）
- ・リサイクルの充実を希望（21件）
- ・中学校の制服自体には賛成（34件）
- ・中学校の制服自体必要ない（9件）

【ジャージ服、運動着、上履き】

- ・高い、複数枚購入は負担、価格の見直しを希望（182件）
- ・選択肢があるとよい、市販の代用品を認めてほしい、ジャージ服は指定でよいが、運動着や上履きは小学校のように自由でよい（77件）
- ・学年カラー、名前等の刺繍をやめてほしい（48件）
- ・デザイン、生地、機能性、質など見直しを希望（39件）

【修学旅行】

- ・中学校の民泊（農業体験）に反対、民泊は不安（157件）
- ・内容に見合っているならよい、質や安全性を下げるくらいなら今のままでよい（124件）
- ・金額が高いと感じる、民泊なのに高い（74件）

【教材費】

- ・柔道着は学校で用意するか、レンタル希望、購入に不満（83件）
- ・彫刻刀を学校の備品として対応してほしい、購入に不満（61件）
- ・使用頻度の低いものや、学校でしか使わないものは学校で用意してほしい（71件）
- ・絵具や裁縫道具は、費用負担し、個人の所有とするべき（38件）

【自由な意見】

- ・保護者負担が減ることはありがたい、負担が軽減されれば他にまわすことができる（40件）
- ・使い道が透明化されれば負担も納得できる、負担に感じない（34件）
- ・適正な競争により価格が抑制されることを望む、競争で質の向上をしてほしい（21件）
- ・年間のスケジュールや集金額をあらかじめ知らせてほしい（14件）

2-3 保護者負担経費に係る課題

アンケート調査等から、次のような課題があることがわかった。

◆制服について

- ・割高感や負担感がある。
- ・限られた業者でしか買えず、価格の高止まり（業者間での価格競争が生じていないこと）に対する懸念がある。
- ・入学前に保護者が情報を入手できることが求められる。

◆ジャージ服、上履き、運動着等について

- ・価格が高いため、価格競争をさせるといった努力・工夫が求められる。
- ・市内統一のものにすることや、学年カラーや名前の刺繍を廃止することが求められる。
- ・指定ではなく、市販の代用品を認めることが求められる。

◆修学旅行について

- ・費用が高く負担感がある。
- ・価格に見合った体験ができているか整理する必要がある。（民泊先で同一の体験が出来ない等の不平等感がある。）
- ・修学旅行の形態（民泊・農業体験等の意義）について整理する必要がある。
- ・アレルギーや障害のある児童・生徒への対応に対して配慮が求められる。
- ・安全面での配慮（旅行先での事故や怪我の対応）が求められる。
- ・保護者への説明の機会を確保することが求められる。
- ・教育課程における位置づけを整理する必要がある。

◆教材について

- ・指定ではなく、市販の代用品を認めることが求められる。
- ・使用頻度の低いものや、学校でしか使わないもの、将来的に不要と思われるものについて整理が必要がある。
- ・シンプルなものに統一することで価格を抑えることが求められる。

◆卒業アルバムについて

- ・簡素化して価格を抑えることが求められる。
- ・アルバム作成過程の見直しをする。
- ・競争性を持たせることが求められる。

海老名市保護者負担経費の在り方についての提言

本検討委員会では、前述の課題に対して様々な資料をもとに協議し、保護者負担経費の在り方について検討した。その結果として次のとおり提言する。

基本的に目指すものは、保護者負担の軽減を図ることであり、公平性、透明性、競争性、経済性を確保した中で、適切な運用をするため、各項目について提言する。

3-1 制服について

- ◆各校の仕様書を作成し、業者に広く周知することによって、取扱店・販売店の拡大を図り、保護者負担を軽減する。
- ◆市ホームページに各校の制服・ジャージ服の販売店・価格等を公開することで、入学以前から保護者が情報を入手できるようにする。
- ◆仕様等を変更する場合は、生地について、現状では、各校とも生地から特注するために価格が上昇している面があることから、汎用性があり流通している生地を使用する。
- ◆制服のリユースの方法について検討する。

3-2 ジャージ服（上下）について

- ◆各校で選定委員会を組織し、仕様書を作成したうえでコンペを行う。
- ◆決定業者との契約期間は3年～6年を目安とする。
- ◆ジャージ服のカラー分けについては、各校で必要性の議論を行う。
- ◆ジャージ服（ハーフパンツ）についても、ジャージ服（下）との関連でコンペを行う。

3-3 上履き（兼体育館履き）について

- ◆各校で選定委員会を組織し、仕様書を作成したうえでコンペ等を行う。
- ◆決定事業者との契約期間は3年～6年を目安とする。

3-4 運動用Tシャツ・短パン・ワイシャツ・ポロシャツについて

- ◆仕様を定めた上での自由化が望ましい。
- ◆既に実施している学校もあるが、全ての学校が平成31年度入学生からの実施が望ましい。
- ◆学校で指定していないものについても、販売店で推奨品としていることもあるため、学校から保護者に対し、基本仕様に沿ったものであれば販売店以外でも自由には買えることを周知する必要がある。

3-5 修学旅行について

- ◆ 決定した内容は、保護者に実施の趣旨を正しく理解してもらえよう、充分周知して、説明責任を果たしていく。
- ◆ 保護者や児童・生徒の意見を聞くことを検討する。
- ◆ 複数の旅行会社によるプレゼンテーションや見積合わせを実施する際には、上限金額は伝えないことを検討する。
- ◆ 様々な課題があるため、今後の方向性については別途検討会を立ち上げて検討することも考える。

3-6 教材について

- ◆ 学校で指定していないものについても、販売店で推奨品としていることもあるため、学校から保護者に対し、基本仕様に沿ったものであれば、販売店以外でも自由に関えることを周知する必要がある。

3-7 卒業アルバムについて

- ◆ 選定委員会で検討のうえ、学校ごとのコンペ等の実施を検討する。

3-8 学校からの保護者説明について

- ◆ 入学時に、小学校は6年間、中学校は3年間で必要な経費及びスケジュールについて、学校から保護者へ説明する。また、年度当初の4月に、各学年の1年間のスケジュールについて学校から保護者へ説明する。

3-9 公的支援について

- ◆ 市内小中学校の授業で使用する彫刻刀と柔道着について、彫刻刀は全小・中学校へ、柔道着は全中学校へ一定数を配備し無償貸与しているが、今後も、毎年活用するもので使用頻度の低い教材等については、無償貸与することを検討する。

3-10 その他

- ◆ ジャージ服、上履き、教材等について、モデル校で実施しているコンペや選考委員会での先行的な取り組みを参考にし、学校が日常で使用している様々なものについて、コンペ等で決めていくことを検討する。併せて、条件を設定のうえ、市販品も可とするなど、一定の自由度を持たせる方法も検討する。
- ◆ ジャージ服（上下）等の選定にあたっては、必要に応じて選定委員会を開催し、選定委員会の委員に第三者（学校運営協議会委員、保護者等）を入れて選定する。
- ◆ コンペ等、取り組みの実施後は、各校及び市教育委員会において効果検証を実施し、軽減効果が図られない場合は他の方策を検討する。
- ◆ 各校が自主的、継続的に見直しを講じられるよう、市教育委員会として、全校の状況が分かる資料を作成して公開したり、他市の動向に関する情報を提供したりする。
- ◆ 市教育委員会は、選定にあたって公平性・透明性の確保に努める。

おわりに

保護者負担経費の在り方については、様々な意見があり、問題意識は高まっているところである。現場の教員や保護者の方に関心を持ってもらうことも課題となっている。

また、本提言の内容は、今後の状況により適宜見直していく必要がある。状況を注視し、様々な意見を取り入れながら適正な時期に見直しを行い、より良い取組となるよう期待するところである。



【お問合せ先】

海老名市教育委員会就学支援課

